

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。

**注意**

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道など施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- ワイド棟木は、雨樋機能を兼ねておりますので照明器具など他の製品を取付けないでください。漏電や雨漏れの原因になります。
- 各部材に弊社指定以上の穴加工をしないでください。強度低下のおそれがあります。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
各部材に弊社指定以上の穴加工をしないでください。強度低下のおそれがあります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

🔑 ポイント

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

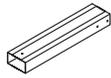
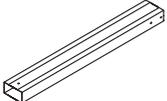
<電気配線工事について>

⚠ 注意

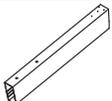
- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- DC12V仕様の照明器具には、専用トランスと電源ケーブルが必要です。AC100Vを接続しないでください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- AC100V用の照明器具には、周波数50Hz用と60Hz用の2タイプがあります。仕様地域の周波数のものを使用してください。

■ 梱包明細表

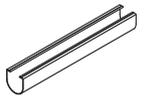
【1】 主柱セット

名 称	略 図	員 数			
		2本入	ロング 2本入	ロング 1本入	H28 1本入
柱		2	—	—	—
ロング柱		—	2	1	—
H28柱		—	—	—	1

【2】 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	1本入
梁		2	1

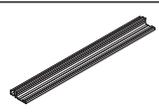
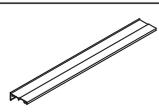
【3】 横樋セット

名 称	略 図	員 数
横樋		1

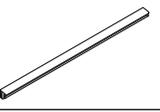
【4】 ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
ブラケット		2

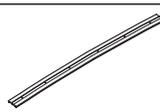
【5】 アーチセット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
中間アーチ		6	7
中間アーチカバー		6	7
端部アーチ		2	2
端部アーチカバー		2	2

【6】 ワイド用側枠セット

名 称	略 図	員 数
側枠		2
後付けビート		4

【7】 連棟用アーチセット

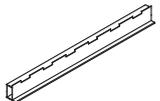
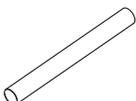
名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
中間アーチ		7	8	2
中間アーチカバー		7	8	2

【8】 妻パネルセット

名 称	略 図	員 数
妻パネル		4

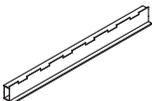
■梱包明細表 つづき

【9】長さセット

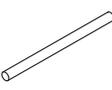
名 称	略 図	員 数								
		50型			57型			14型		
		2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入
前枠 (※1)		1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠 (※1)		1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	3	4
縦樋 L=3900 φ40		1	1	1	1	1	1	—	—	—

※1 前枠と後枠は同じものです。

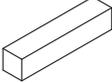
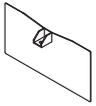
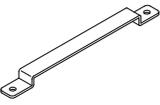
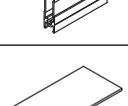
【10】ワイド用長さセット

名 称	略 図	員 数								
		50型			57型			14型		
		2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入
ワイド用棟木		1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	3	4
縦樋 L=3900 φ40		1	1	1	1	1	1	—	—	—

【11】柱—梁組立部品セット

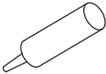
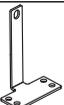
名 称	略 図	員 数	
		50・57用	14用
ブラケットカバーR		4	2
ブラケットカバーL		4	2
アンカー棒		4	2
【11-1】φ5×55サラタッピンネジ		4	2
【11-2】M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付)		24	12
取付説明書	—	1	—
取扱説明書	—	1	—

【12_1】屋根組立部品セット ※カラー・ウッド調用を含む側枠が付くタイプの屋根組立部品セットです。

名 称	略 図	員 数					
		36・42		48～54		60	
		50型	57型	50型	57型	50型	57型
コーナーキャップR		2	2	2	2	2	2
コーナーキャップL		2	2	2	2	2	2
カラー用クッション材(※1)		4	4	4	4	4	4
ワイド棟木キャップA		2	2	2	2	2	2
ワイド棟木キャップB		2	2	2	2	2	2
ワイド棟木取付金具		4	4	4	4	4	4
ワイド棟木取付金具B		4	4	4	4	4	4
母屋金具A L=32		4	4	4	4	4	4
母屋金具C L=72		4	4	4	4	8	8
母屋金具D L=76.5		—	—	4	4	—	—
母屋金具E L=87.5		—	—	—	—	4	4
側枠金具A L=30.5		4	4	—	—	—	—
側枠金具D L=75		—	—	4	4	—	—
側枠金具C L=70.5		—	—	—	—	4	4
止水シール		32	36	32	36	32	36

■梱包明細表 つづき

【12_1】屋根組立部品セット つづき

名 称	略 図	員 数					
		36・42		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型	50型	57型
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1
穴隠しシール φ10		40	40	48	48	56	56
横樋キャップ 前		1	1	1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		3	3	3	3	3	3
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン		4	4	4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2	2	2
92° エルボ φ40用		4	4	4	4	4	4
でんでん		6	6	6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1	1	1
【12-1】 φ4×13ナベドリルネジ		6	6	6	6	6	6
【12-2】 φ5×16トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8	8	8
【12-3】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		166	186	198	222	278	312

名 称	略 図	員 数					
		36・42		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型	50型	57型
【12-4】 φ4×13ナベドリルネジ		82	18	98	18	114	18
【12-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		16	16	16	16	16	16
【12-6】 φ4×50ナベタッピンネジ1種		8	8	8	8	8	8
【12-7】 φ4×100ナベタッピンネジ1種		16	16	24	24	32	32
【12-8】 φ4平座金		24	24	32	32	40	40
【12-9】 φ5×13ナベドリルネジ		—	76	—	94	—	112
【12-10】 φ5×50ナベドリルネジ		—	4	—	4	—	4
【12-11】 φ5×110ナベドリルネジ		—	4	—	8	—	12
【12-12】 φ4×19ナベドリルネジ		4	4	4	4	4	4
【12-13】 φ4×8トラス小ネジ		4	4	4	4	4	4

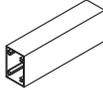
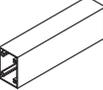
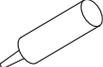
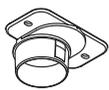
※1 カラー・ウッド調用部品セットにのみ同梱されます。

【12_2】屋根組立部品セットB ※側枠が付かないタイプの屋根組立部品セットです。

名 称	略 図	員 数					
		36・42		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型	50型	57型
前後枠キャップR		2	2	2	2	2	2
前後枠キャップL		2	2	2	2	2	2
ワイド棟木キャップA		2	2	2	2	2	2
ワイド棟木キャップB		2	2	2	2	2	2
棟木取付金具		4	4	4	4	4	4
棟木取付金具B		4	4	4	4	4	4
母屋キャップR		4	4	6	6	8	8
母屋キャップL		4	4	6	6	8	8
母屋金具A L=32		4	4	4	4	4	4
母屋金具C L=72		4	4	4	4	8	8

■ 梱包明細表 つづき

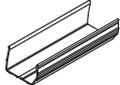
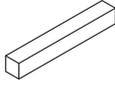
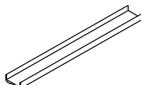
【12.2】 屋根組立部品セットB つづき

名 称	略 図	員 数					
		36・42		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型	50型	57型
母屋金具D L=76.5		—	—	4	4	—	—
母屋金具E L=87.5		—	—	—	—	4	4
止水シール		32	36	32	36	32	36
ブチル系シーリング材		1	1	1	1	1	1
穴隠しシール φ10		40	40	48	48	56	56
横樋キャップ 前		1	1	1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		4	4	4	4	4	4
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン		4	4	4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2	2	2
92° エルボ φ40用		4	4	4	4	4	4

【12_2】屋根組立部品セットB つづき

名 称	略 図	員 数					
		36・42		48~54		60	
		50型	57型	50型	57型	50型	57型
でんでん		6	6	6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1	1	1
【12-1】φ4×13ナベドリルネジ		6	6	6	6	6	6
【12-2】φ5×16トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8	8	8
【12-3】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		166	186	198	222	278	312
【12-4】φ4×13ナベドリルネジ		70	6	86	6	102	6
【12-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種		16	16	16	16	16	16
【12-6】φ4×50ナベタッピンネジ1種		8	8	8	8	8	8
【12-7】φ4×100ナベタッピンネジ1種		16	16	24	24	32	32
【12-8】φ4平座金		24	24	32	32	40	40
【12-9】φ5×13ナベドリルネジ		—	76	—	94	—	112
【12-10】φ5×50ナベドリルネジ		—	4	—	4	—	4
【12-11】φ5×110ナベドリルネジ		—	4	—	8	—	12
【12-12】φ4×19ナベドリルネジ		4	4	4	4	4	4
【12-13】φ4×8トラス小ネジ		4	4	4	4	4	4
【12-14】φ4バネ座金		4	4	4	4	4	4
【12-15】φ4平座金		4	4	4	4	4	4

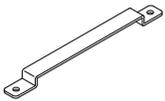
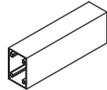
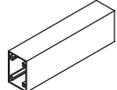
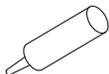
【13】連棟スリーブセット

名 称	略 図	員 数		
		36・42用	48~54用	60用
前後枠スリーブ		2	2	2
ワイド用スリーブ		1	1	1
カラー用クッション材(※)		2	2	2
母屋スリーブ		2	3	4
母屋スリーブスペーサー		2	3	4

※カラー・ウッド調用連棟スリーブセットにのみ同梱されます。

■ 梱包明細表 つづき

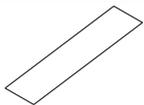
【14】 連棟部品セット

名 称	略 図	員 数								
		36・42用			48~54用			60用		
		50型	57型	14型	50型	57型	14型	57型	50型	14型
棟木取付金具		4	4	2	4	4	2	4	4	2
棟木取付金具B		4	4	2	4	4	2	4	4	2
母屋金具A L=32		4	4	2	4	4	2	8	8	4
母屋金具C L=72		4	4	2	4	4	2	—	—	—
母屋金具D L=76.5		—	—	—	4	4	2	—	—	—
母屋金具E L=87.5		—	—	—	4	4	2	4	4	2
止水シール		32	36	8	32	36	8	32	36	8
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール φ10		40	40	20	48	48	20	56	56	24
横樋キャップ 前		1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋キャップ 後		1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2
横樋金具 前		1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋金具 後		1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		4	4	4	4	4	4	4	4	4

【14】 連棟部品セット つづき

名 称	略 図	員 数								
		36・42用			48~54用			60用		
		50型	57型	14型	50型	57型	14型	50型	57型	14型
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン		4	4	4	4	4	4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2	2	2	2	2	2
92° エルボ φ40用		4	4	4	4	4	4	4	4	4
でんでん		6	6	6	6	6	6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1
【14-1】 φ4×13ナベドリルネジ		6	6	6	6	6	6	6	6	6
【14-2】 φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4	4	4	4	4	4
【14-3】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		146	166	45	174	198	53	278	244	73
【14-4】 φ4×13ナベドリルネジ		124	68	85	154	84	105	100	184	125
【14-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		16	16	16	16	16	16	16	16	16
【14-6】 φ4×50ナベタッピンネジ1種		8	8	4	8	8	4	8	8	4
【14-7】 φ4×100ナベタッピンネジ1種		16	16	8	24	24	12	32	32	16
【14-8】 φ4平座金		24	24	12	32	32	16	40	40	20
【14-9】 φ4×16サラドリルネジ		4	4	4	6	6	6	8	8	8
【14-10】 φ5×13ナベドリルネジ		—	68	—	—	84	—	100	—	—
【14-11】 φ5×50ナベドリルネジ		—	4	—	—	4	—	—	4	—
【14-12】 φ5×110ナベドリルネジ		—	4	—	—	8	—	—	12	—

【15】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

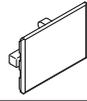
【16】 屋根材ホルダーセット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		7枚入	8枚入	2枚入
屋根材ホルダー		7	8	2
【16-1】 φ5×13ドリルネジ		18	20	5
取付説明書		1	1	—

【17】 カラー部材セット

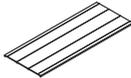
※カラー部材セットは販売を終了しました。

名 称	略 図	員 数	
		2本入	1本入
カラー部材 L=3000		2	1
カラー部材つなぎ材		1	2

■梱包明細表 つづき

【18_1】 Fフレームセット

オプション

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
Fフレーム		1	1
Fフレーム蓋		1	1
Fフレームキャップ		2	2
【18-1】 φ4×13ナベドリルネジ		30	30

【19】 シャッターひさし

オプション

名 称	略 図	員 数
シャッターひさし		1
【19-1】 φ4×19ナベドリルネジ		20

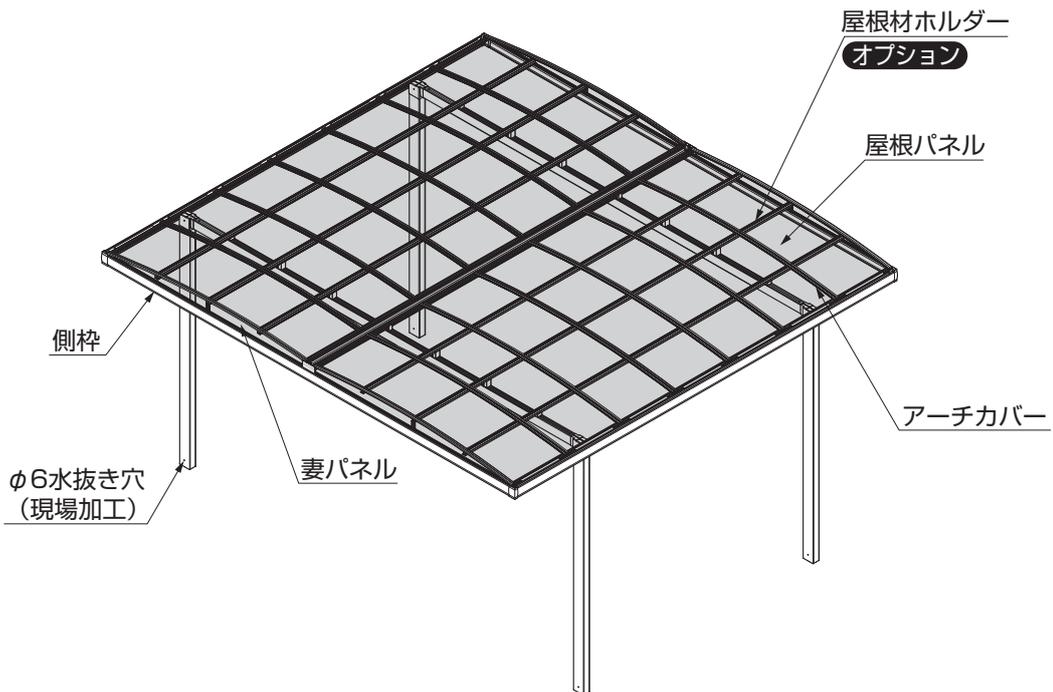
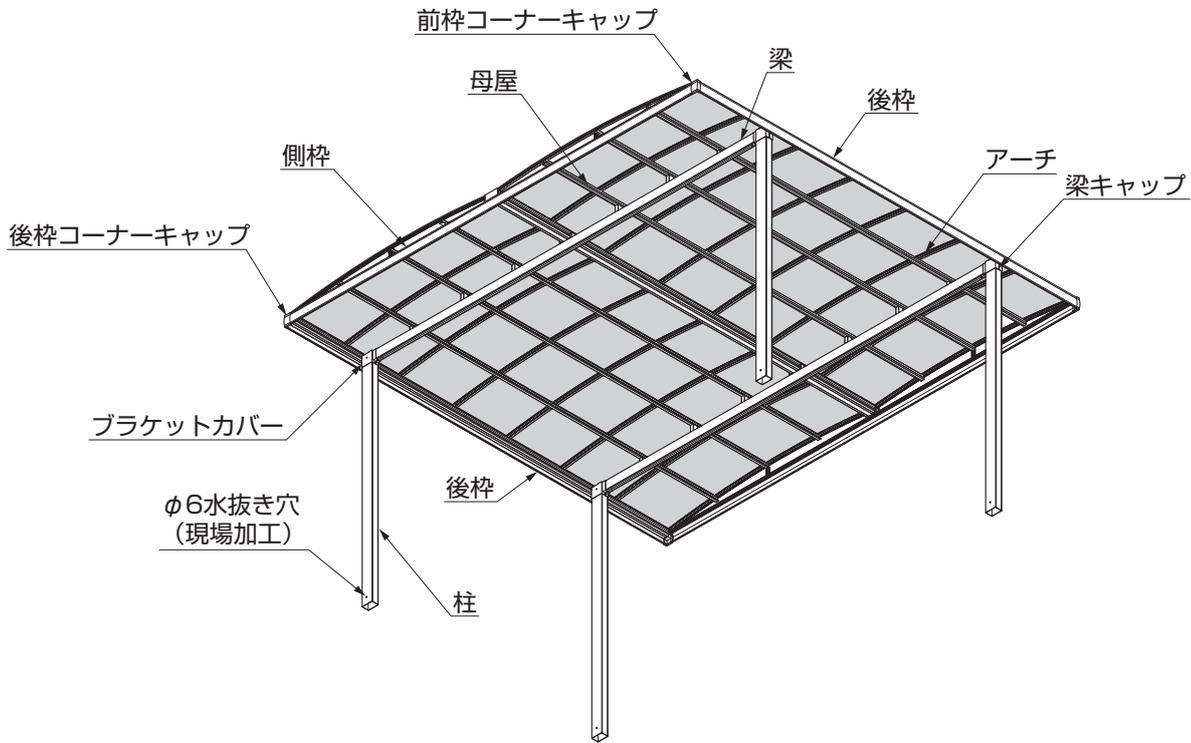
INDEX

1	基本寸法と各部の名称	14
1.	各部の名称.....	14
2.	基本寸法.....	15
2	基本の施工方法	17
1.	基礎の施工.....	17
2.	柱と梁の取付け.....	18
3.	カラ一部材の取付け.....	19
4.	母屋・後枠の取付け.....	19
5.	Fフレームの取付け（オプション）.....	22
6.	側枠・アーチの取付け.....	25
7.	屋根パネルの取付け.....	28
8.	竪樋の取付け.....	30
3	縦連棟・14延長の施工方法	33
1.	基礎の施工.....	33
2.	本体の連結.....	35
3.	シャッターひさしの取付け（オプション）.....	36

1 基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

1
基本寸法と
各部の名称



2. 基本寸法

※図は標準柱仕様を示します。

() はロング柱仕様、[] はH28柱仕様、< > は奥行き57型、<< >> は間口60型を示します。

2-1 間口寸法

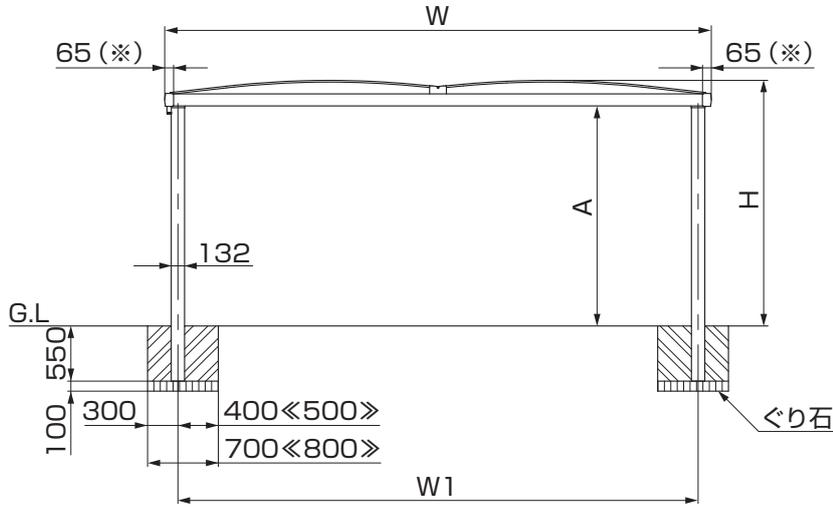


表2-1 間口寸法

サイズ	W	H			A (梁下)			A (側枠下)			W1
36型	3606	2472	(2740)	[3009]	2238	(2506)	[2775]	2223	(2491)	[2760]	3346
42型	4206	2474	(2742)	[3011]	2238	(2506)	[2775]	2223	(2491)	[2760]	3946
48型	4807	2480	(2748)	[3017]	2238	(2506)	[2775]	2223	(2491)	[2760]	4547
51型	5107	2480	(2748)	[3017]	2238	(2506)	[2775]	2223	(2491)	[2760]	4847
54型	5407	2480	(2748)	[3017]	2238	(2506)	[2775]	2223	(2491)	[2760]	5147
60型	6006	2487	(2755)	[3024]	2238	(2506)	[2775]	2223	(2491)	[2760]	5746

※後枠は柱から65mm外に出ます。

2-2 奥行き寸法

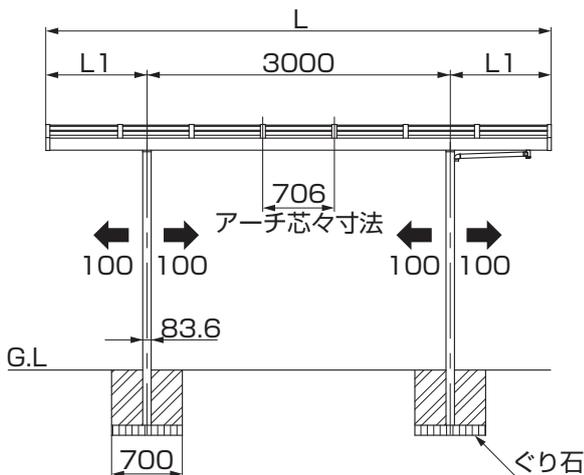


図2-1 50型

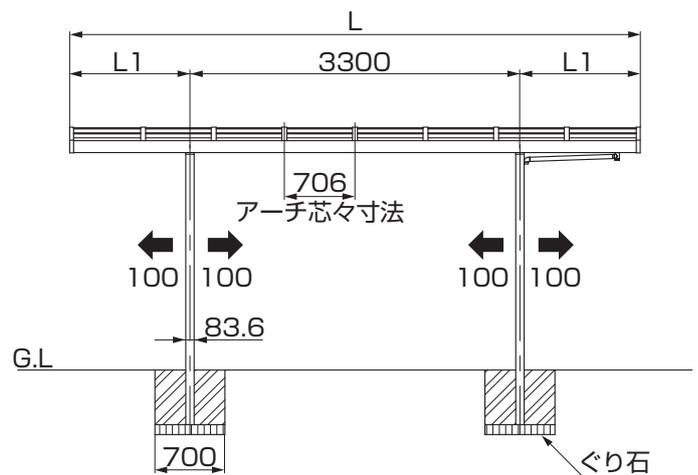


図2-2 57型

表2-2 奥行き寸法

奥行き	標準		プラス	
	L	L1	L	L1
50型	4994	997	5006	1003
57型	5700	1200	5712	1206

※柱芯々寸法は、±100mm以内になしてください。

2. つづき

2-3 連棟・延長タイプ奥行き寸法

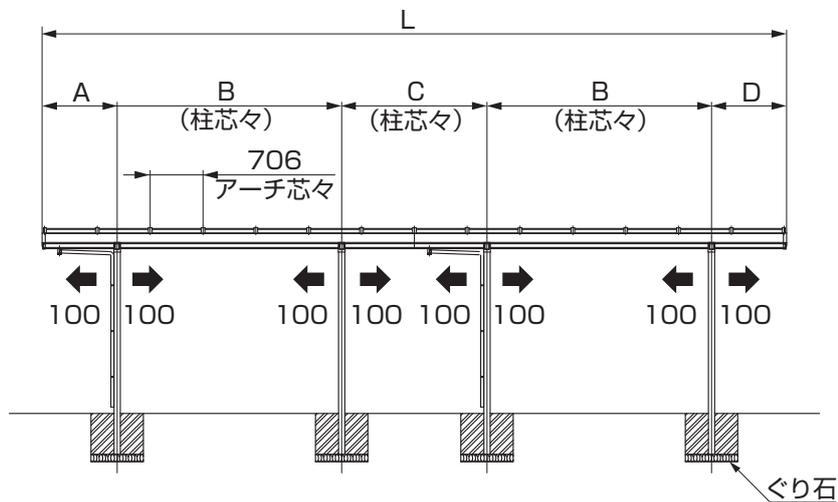


図2-3 連棟タイプ

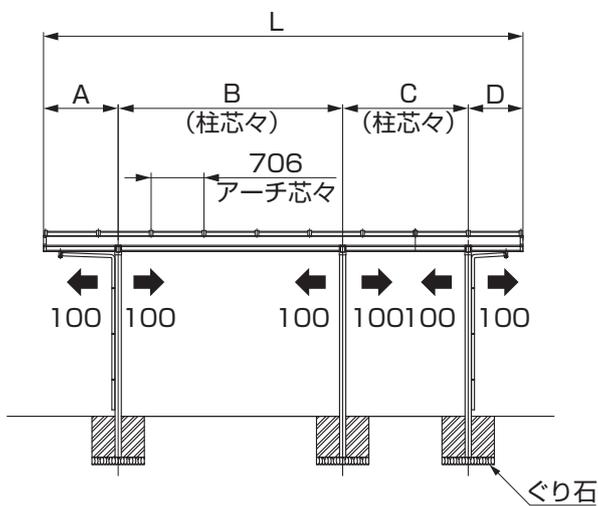


図2-4 14延長タイプ

表2-3 連棟・延長タイプ奥行き寸法

奥行き	標準					プラス				
	L	A	B	C	D	L	A	B	C	D
50-50連棟	9936	997	3000	1942	997	9948	1003	3000	1942	1003
50-57連棟	10642	997	3000	2145	1200	10654	1003	3000	2145	1206
57-57連棟	11348	1200	3300	2348	1200	11360	1206	3300	2348	1206
50-14連棟	6406	997	3000	1677	732	6418	1003	3000	1677	738
57-14連棟	7112	1200	3300	1880	732	7124	1206	3300	1880	738

2 基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 基礎位置の墨出し

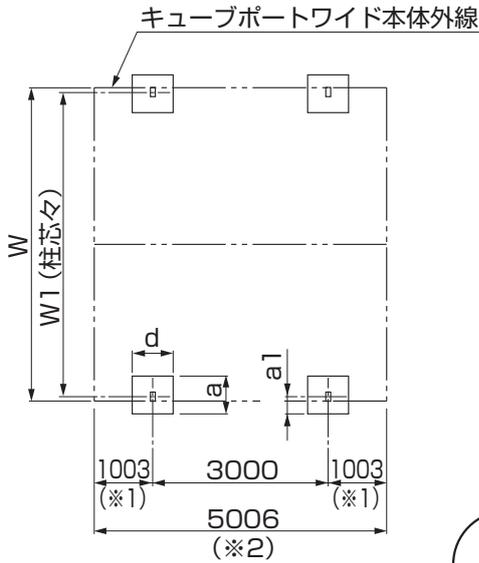


図1-1 50サイズ

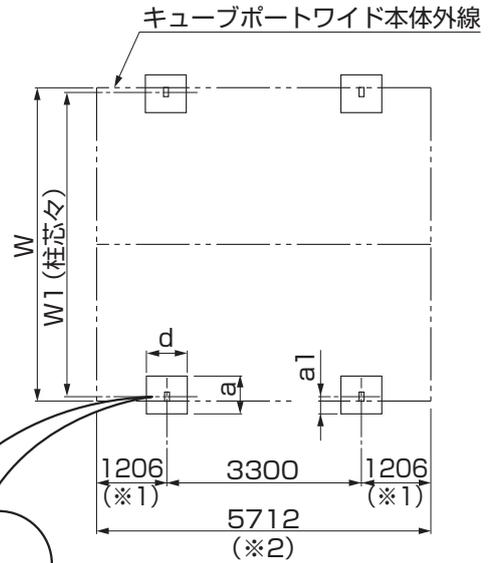


図1-2 57サイズ

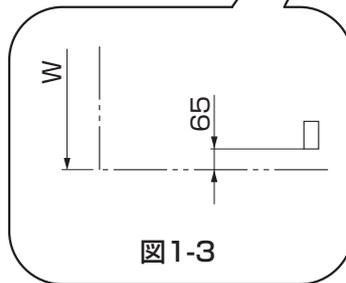


図1-3

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

⚠ 注意

●柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。

✎ 補足

- 柱の移動は±100mm以内です。
- 柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60サイズの場合を示します。
- 後枠は柱から65mm外に出ています。(図1-3参照)
- 本体外線は、キューブポートプラスです。標準は※1寸法から6mm、※2寸法は12mm減らしてください。

表1-1

サイズ 呼称	W	W	a		a1		d	
			土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート	土間なし	土間コンクリート
			50・57	50・57	50・57	50・57	50・57	50・57
36	3606	3346						
42	4206	3946						
48	4807	4547	700	400	300	200	700	300
51	5107	4847						
54	5407	5147						
60	6006	5746	800	500		250		

1. つづき

1-2 基礎寸法 ※土間コンクリート仕様の場合

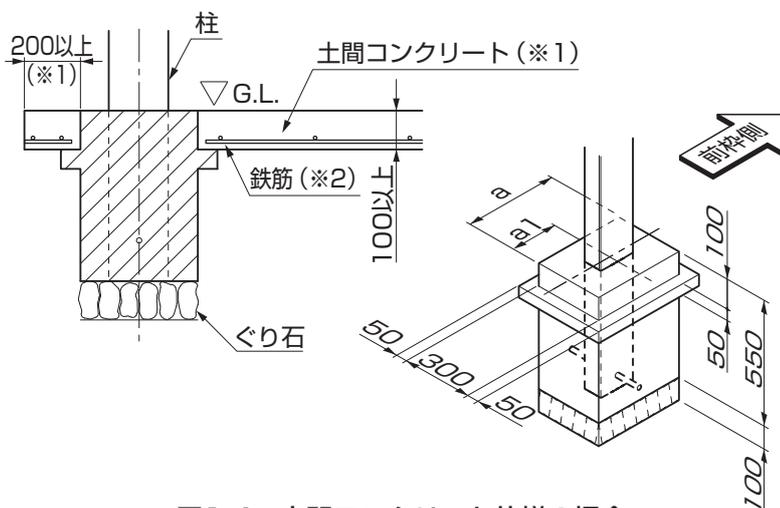


図1-4 土間コンクリート仕様の場合

表1-2

サイズ	a	a1
36~54	400	200
60	500	250

ポイント

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)

2. 柱と梁の取付け

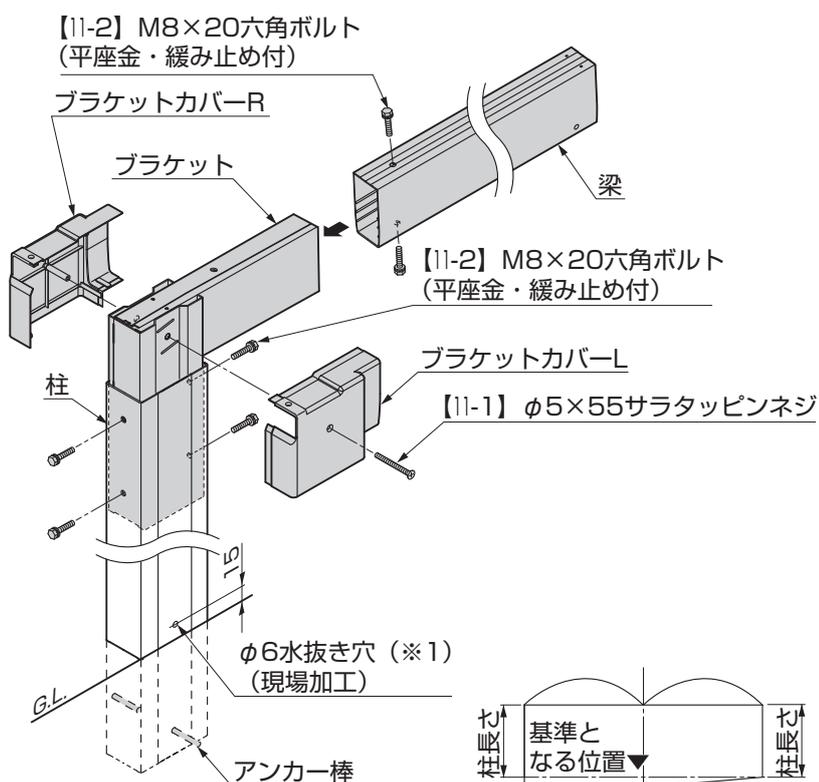


図2-1

図2-2

- ①柱にアンカー棒を差込んでください。
- ②柱にブラケットを【11-2】で取付けてください。
- ③梁をブラケットに【11-2】で取付けてください。
- ④ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【11-1】で取付けてください。

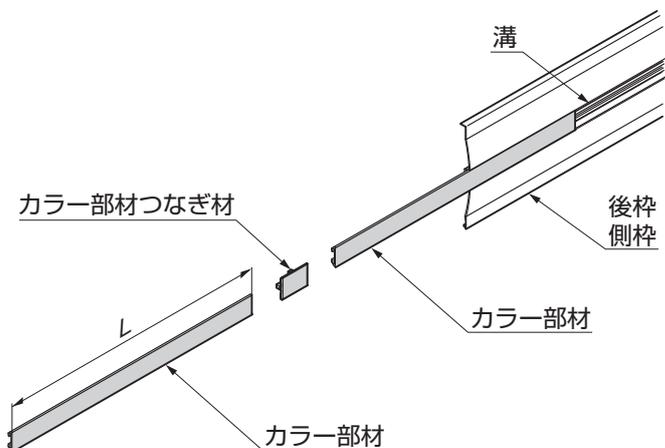
ポイント

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。(図2-2参照)
- 柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴(※1)をあけてください。

3. カラー部材の組付け

※カラー仕様の場合は施工前にこの作業を行なってください。

※カラー部材セットは販売を終了しました。



- ① カラー部材を表3-1、表3-2を参照し、切断してください。
- ② 切断したカラー部材を後枠・側枠の溝に挿入してください。

補足

- 後枠の50型、57型、14型および側枠には中間にカラー部材つなぎ材を挿入してください。

表3-1 側枠用カラー部材寸法

側枠サイズ	L	必要本数
36型	1732	4
42型	2032	4
48型	2332	4
51型	2482	4
54型	2632	4
60型	2931	4

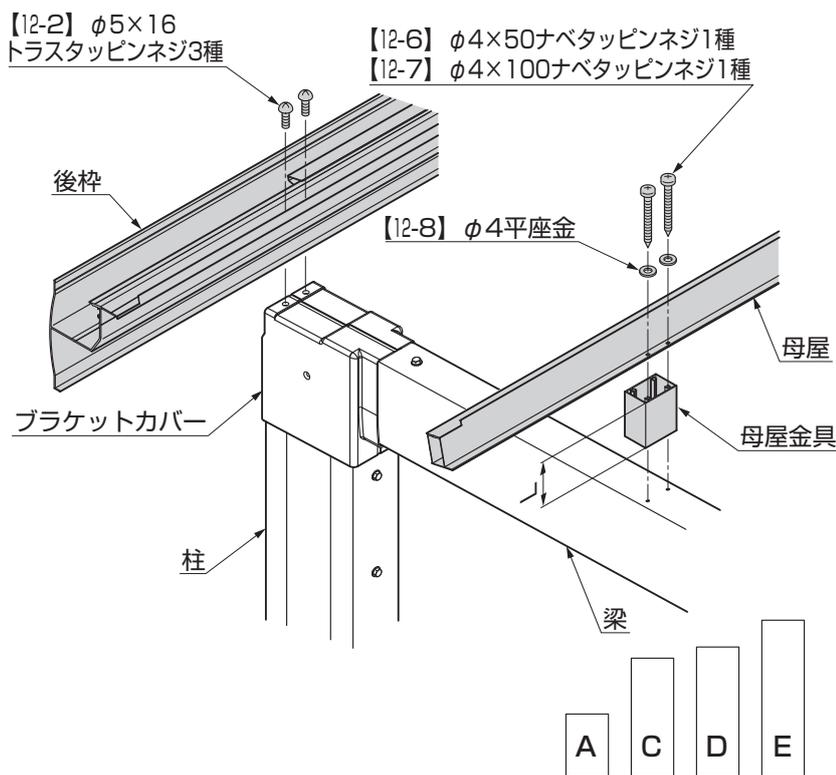
表3-2 前枠・側枠用カラー部材寸法

後枠サイズ	L	必要本数
50型	2467	4
57型	2820	4
14型	1410.5	2

4. 母屋・後枠の取付け

※50型は①～③の手順で取付けてください。

57型の場合は①～⑤の手順で取付けてください。



- ① 後枠をブラケットカバーに【12-2】で取付けてください。(図4-1参照)

補足

- 母屋金具A・C・D・Eを確認してから取付けてください。(図4-2参照)

図4-1

図4-2 母屋金具

	L	使用ネジ
母屋金具A	32	【12-6】φ4×50 ナベタッピンネジ1種
母屋金具C	72	【12-7】φ4×100 ナベタッピンネジ1種
母屋金具D	76.5	
母屋金具E	87.5	

4. つづき

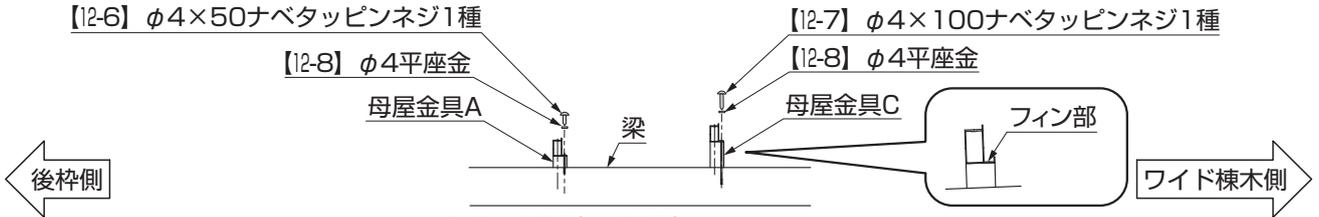


図4-2 36型・42型



図4-3 48型・51型・54型

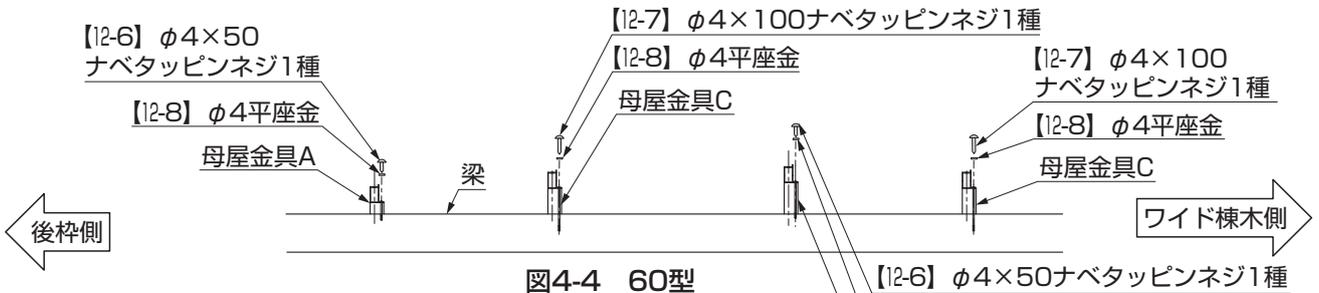


図4-4 60型

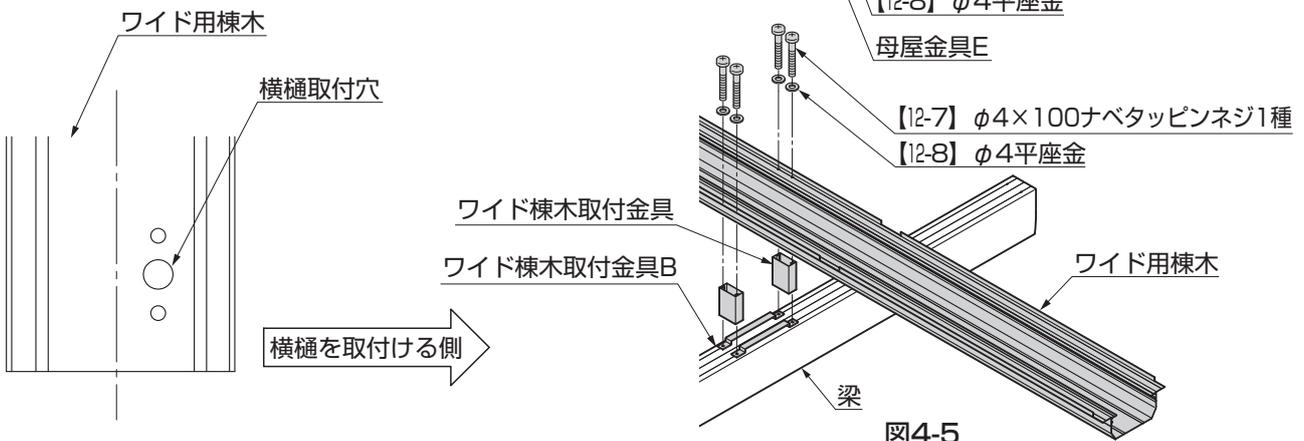


図4-5

- ②梁の中央部にワイド用棟木とワイド棟木取付金具とワイド棟木取付金具Bを【12-7】、【12-8】で固定してください。
- ③ワイド用棟木側にフィン部を向けて梁に母屋と母屋金具を【12-6】、【12-7】、【12-8】で取付けてください。

⚠ 注意

- ワイド棟木は、雨樋機能を兼ねていますので照明器具など他の製品を取付けないでください。漏電や雨漏れの原因になります。

🔑 ポイント

- ワイド用棟木を取付ける場合、横樋取付穴が横樋を取付ける側になるように取付けてください。
- 柱を移動した場合は、後枠および母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、ワイド棟木・母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

【12-10】 $\phi 5 \times 50$ ナベドリルネジ
 【12-11】 $\phi 5 \times 110$ ナベドリルネジ

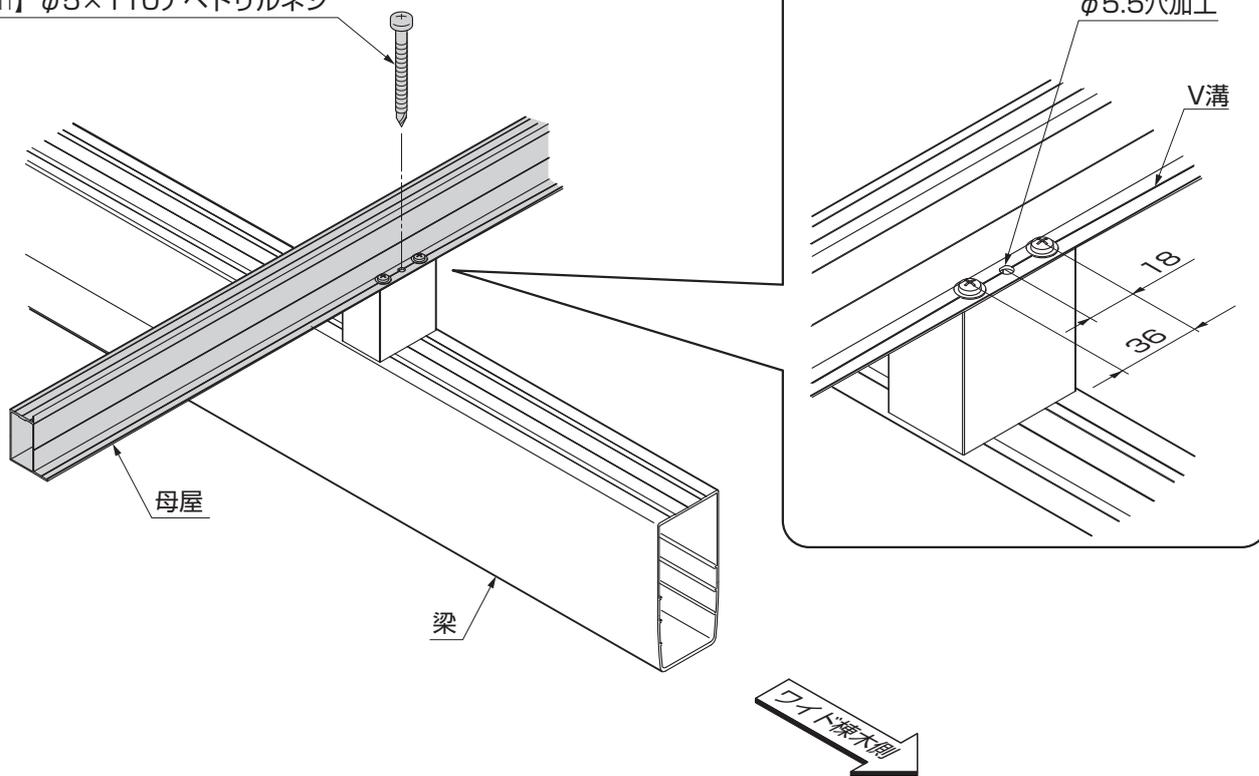


図4-7

	L	使用ネジ
母屋金具A	32	【12-10】 $\phi 5 \times 50$ ナベドリルネジ
母屋金具C	72	【12-11】 $\phi 5 \times 110$ ナベドリルネジ
母屋金具D	76.5	
母屋金具E	87.5	

- ④母屋を固定しているネジ【12-6】、【12-7】の中間V溝上に $\phi 5.5$ の穴をあけてください。(図4-7参照)
 ⑤ $\phi 5.5$ の穴に【12-10】、【12-11】を取付けてください。

補足

●母屋金具Aに【12-10】、母屋金具C・D・Eには【12-11】を使用してください。

5. Fフレームの取付け（オプション）

5-1 Fフレームの取付け ※母屋と母屋の間に取付ける場合の作業です。

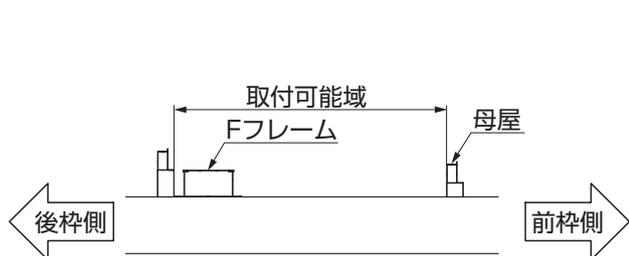


図5-1

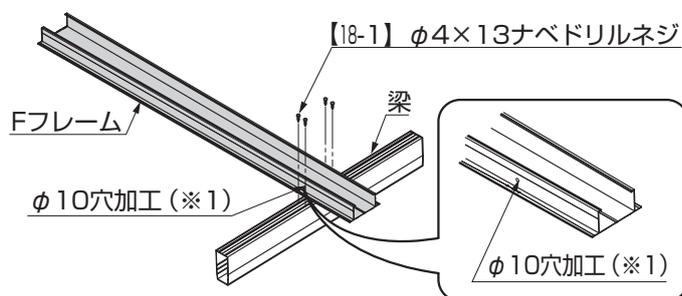


図5-2

ポイント

- Fフレームは母屋と母屋の間の任意の位置に取付けることができます。
- 後枠と母屋、ワイド棟木と母屋の間には取付けられません。
- ユニット取付けタイプはFフレームにユニット取付け穴の加工がありますので、施工の際は、位置を確認して施工してください。

- ①Fフレームを梁にのせ、Fフレームの取付け穴を梁上部のV溝に合わせ、【18-1】で取付けてください。
- ②Fフレームの側面に配線用のφ10の穴加工を行なってください。(※1)

注意

- 配線を通す穴を梁・柱にあけないでください。梁・柱の強度が弱くなります。

5-2 Fフレームの取付け2 ※母屋金具Bの代わりにFフレームと母屋を取付ける場合の作業です。

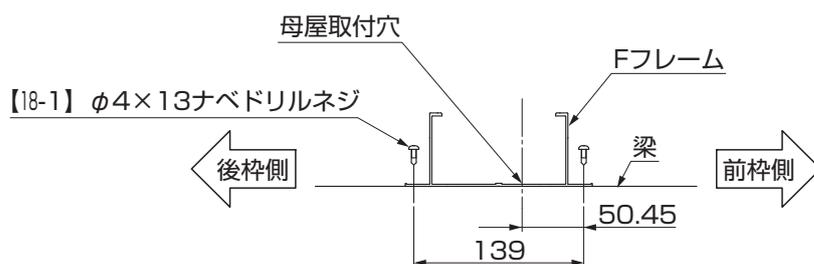


図5-3

ポイント

- Fフレームと母屋金具Bは高さが同じです。母屋金具Bの位置にFフレームを取付けることができます。

- ①図のようにFフレームを梁の母屋取付け穴から前枠側に50.45mmの位置に【18-1】で取付けてください。
- ②Fフレームの側面に配線用のφ10の穴加工を行なってください。

注意

- 配線を通す穴を梁・柱にあけないでください。梁・柱の強度が弱くなります。

5-3 Fフレーム蓋の取付け1 ※母屋と母屋の間に下フレームを取付ける場合の作業です。

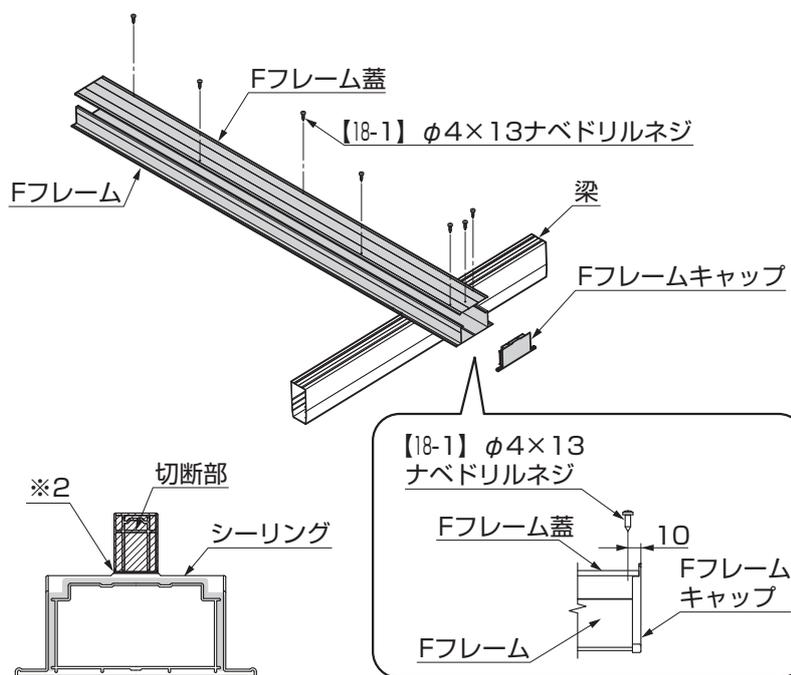


図5-4

- ①FフレームにFフレーム蓋を【18-1】で取付けてください。(図5-4参照)
- ②FフレームキャップをV溝に合わせ上部を切断し(※2)、シーリング材を充てんしてFフレームを取付けてください。(図5-5参照)
- ③Fフレームキャップを【18-1】で固定してください。

図5-5

5-4 Fフレーム蓋の取付け2 ※母屋金具Bの代わりにFフレームと母屋を取付ける場合の作業です。

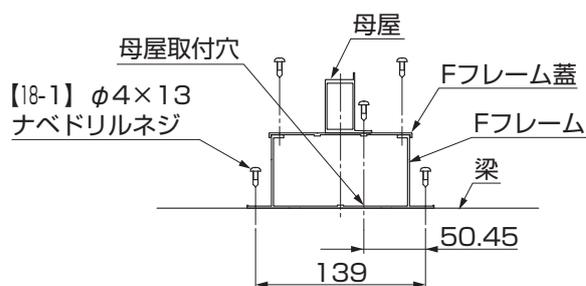


図5-6

ポイント

- Fフレームと母屋金具Bは高さと同じです。母屋金具Bの位置にFフレームを取付けることができます。

- ①図のようにFフレームを梁の母屋取付け穴から前枠側に50.45mmの位置に【18-1】で取付けてください。
- ②FフレームにFフレーム蓋を【18-1】で取付けてください。
- ③Fフレーム蓋の上に母屋をのせ、母屋の取付け穴をFフレーム蓋の中央部前枠側のV溝に合わせ、【18-1】で取付けてください。
- ④Fフレームキャップにシーリング材を充てんしてFフレームと母屋に取付けてください。(図5-7、図5-8参照)

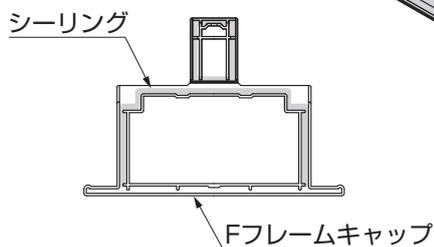


図5-7

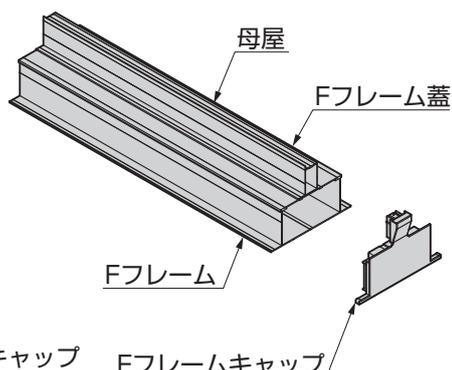


図5-8

6. 側枠・アーチの取付け

6-1 側枠・アーチの取付け ※側枠が付くタイプの場合の作業です。

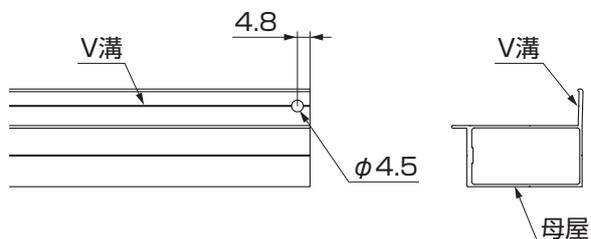


図6-1

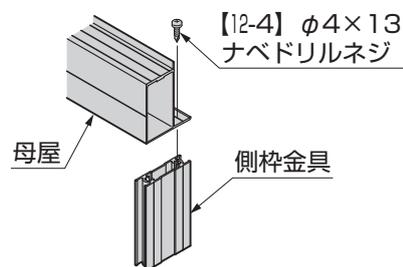


図6-2

①屋根中央部の母屋1本の両端にφ4.5の穴加工してください。(図6-1参照)

補足

●母屋の本数が偶数の場合は、前枠に近い側の母屋に加工してください。

②加工した母屋に側枠金具を【12-4】で取付けてください。(図6-2参照)

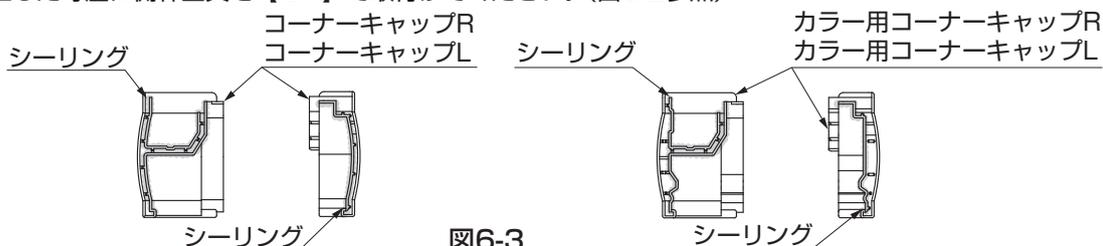


図6-3

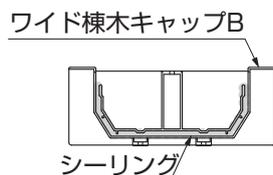
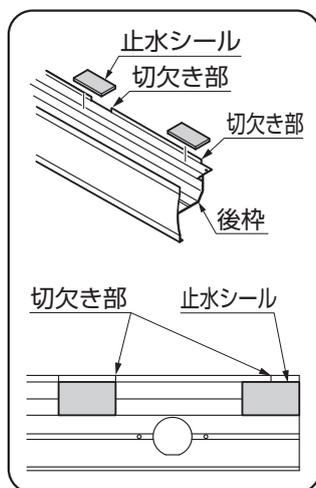


図6-4

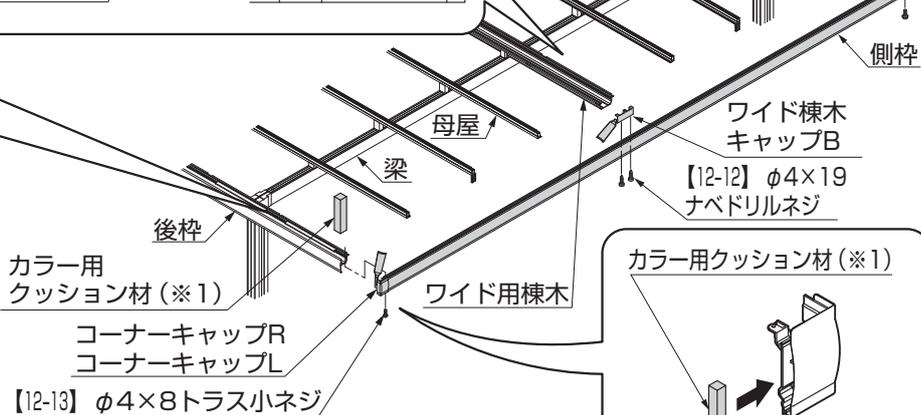
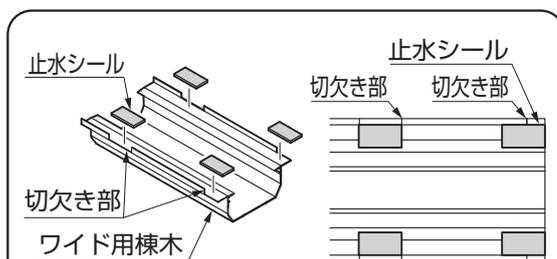


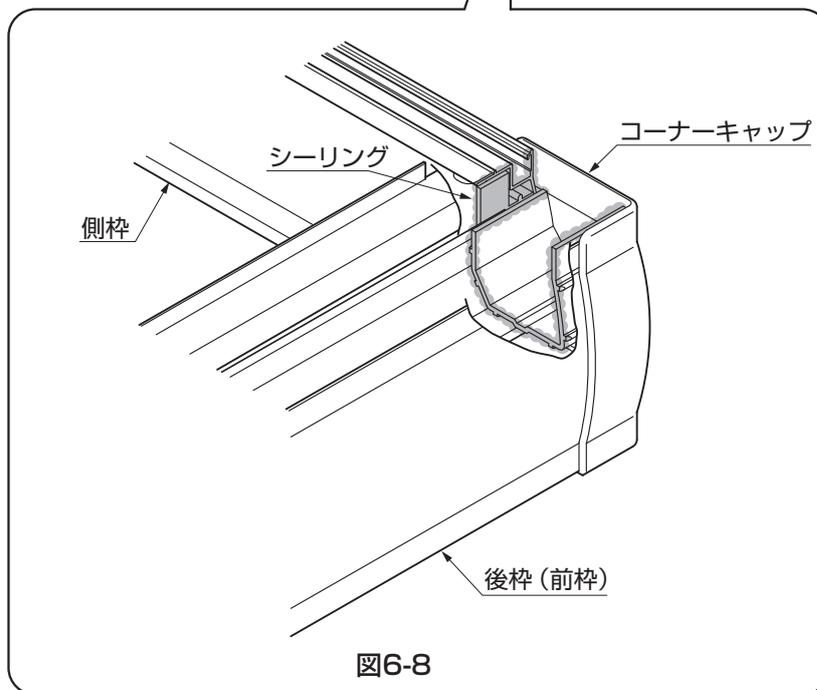
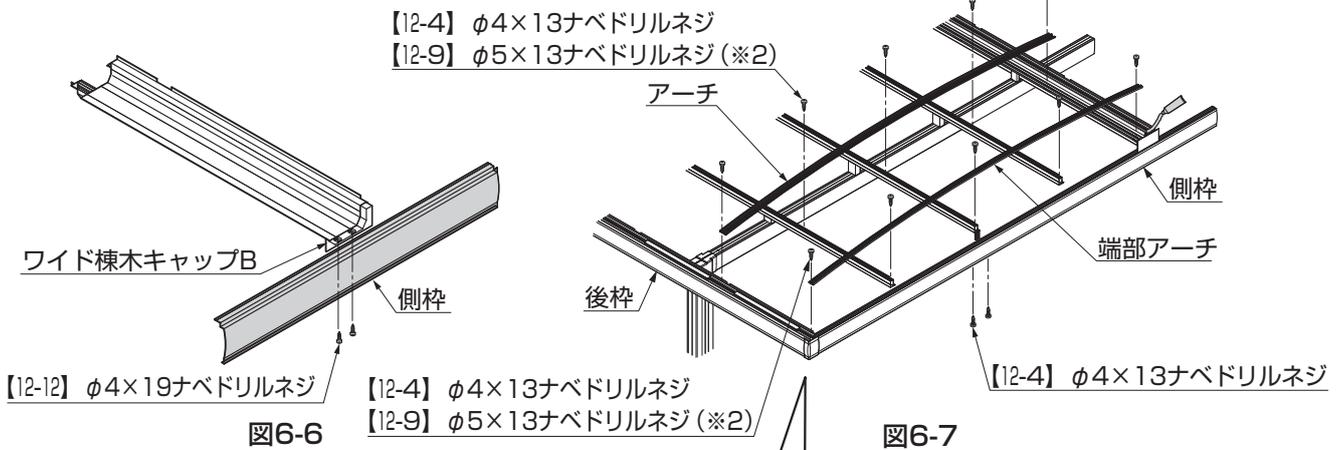
図6-5

③コーナーキャップRおよびコーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠に取付けてください。(図6-3参照)

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図6-3、図6-4参照)
- 同梱のブチルシーリング材を使用してください。
- カラー用コーナーキャップは前枠・後枠側との間にすき間がありますのでカラー用クッション材(※1)をすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。

6. つづき

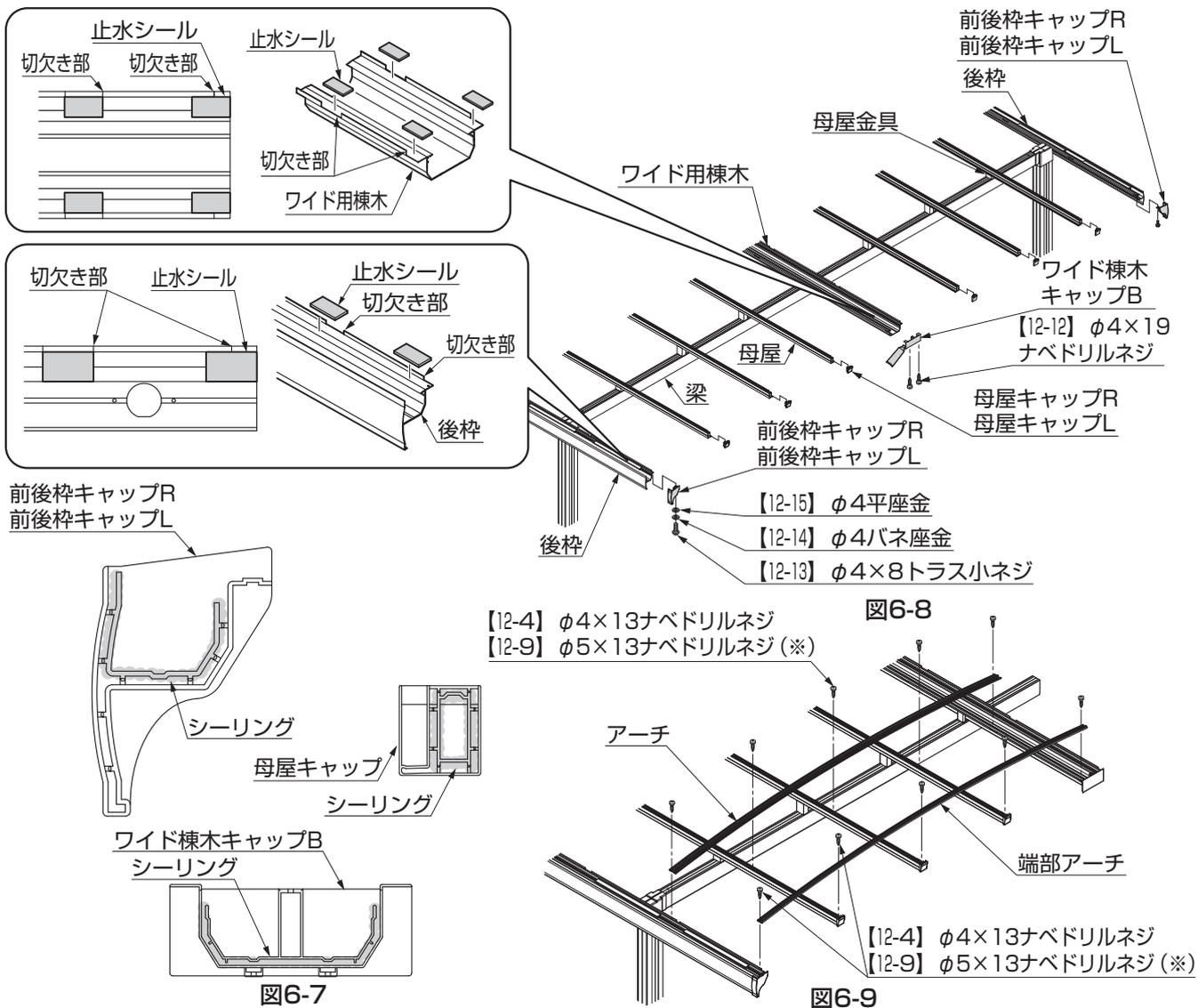


- ④側枠の端部の穴にコーナーキャップの穴を合わせるように取付け、後枠の端部の穴と合わせて【12-13】で取付けてください。(図6-5参照)
- ⑤ワイド用棟木・後枠のアーチ、端部アーチ取付部に止水シールを貼付けてください。
- ⑥ワイド棟木キャップB下面穴と側枠のV溝を合わせて【12-12】で取付けてください。(図6-6参照)
- ⑦後枠および側枠とコーナーキャップの間とワイド用棟木とワイド棟木キャップBの間にシーリング材を充てんしてください。(図6-7、図6-8参照)
- ⑧側枠金具と側枠の穴を合わせて【12-4】、57型は【12-9】(※2)で取付けてください。
- ⑨後枠および母屋のV溝にアーチの穴を合わせて【12-4】で取付けてください。(図6-7参照)
- ⑩屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをしてください。

補足

- ワイド用棟木・後枠および母屋には加工穴はあいていません。
- 中間アーチに前後の区別はありません。
- 端部アーチはワイド用棟木・後枠・母屋のアーチ取付け部の切欠きに押付けて取付けてください。
- 側枠を取付けた後に側枠の両小口部上部にシーリング材を充てんしてください。

6-2 アーチの取付け ※側枠が付かないタイプの場合の作業です。



- ①ワイド用棟木・後枠のアーチ，端部アーチの取付け部に止水シールを貼付けてください。
- ②前後枠キャップR・前後枠キャップLおよびワイド棟木キャップBにシーリング材を充てんしてください。
(図6-7、図6-8参照)
- ③ワイド棟木キャップを下面の穴から【12-12】で取付けてください。
- ④前後枠キャップRおよび前後枠キャップLを【12-13】、【12-14】、【12-15】で取付けてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図6-7参照)
- 同梱のプチルシーリング材を使用してください。

- ⑤ワイド用棟木・後枠・母屋のV溝にアーチの穴を合わせて【12-4】、57型は【12-9】(※)で取付けてください。
(図6-9参照)

補足

- ワイド用棟木・後枠および母屋には加工穴はあいていません。
- 中間アーチに前後の区別はありません。
- 端部アーチはワイド用棟木・後枠・母屋のアーチ取付け部の切欠きに押し付け、母屋キャップもしっかり突き当ててから取付けてください。

7. 屋根パネルの取付け

7-1 屋根パネルの取付け

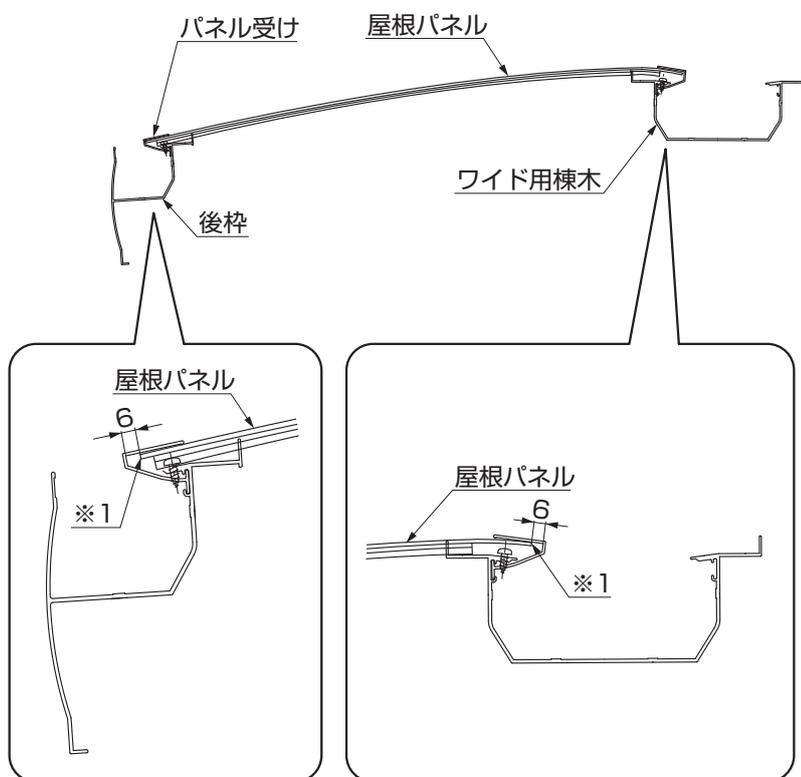


図7-1

①屋根パネルをワイド用棟木と後枠のパネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは後枠側とワイド用棟木側で均等にしてください。(※1)
- 屋根パネルを均等に取付けることができない場合は、前後枠・側枠のまわりの対角、前後枠の水平を測ってください。
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

7-2 妻パネル、端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

※妻パネルが付くタイプの場合の作業です。

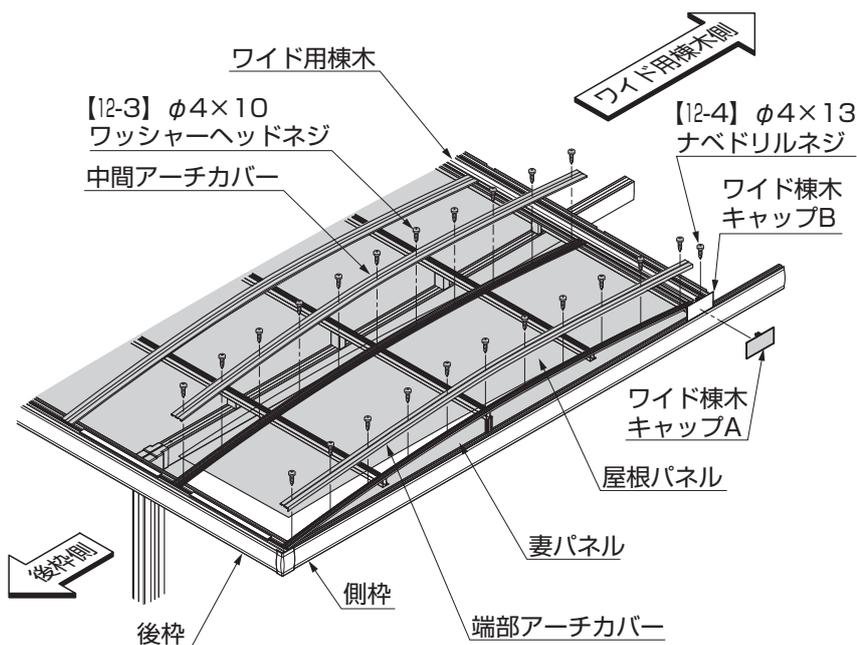


図7-2

①側枠の溝に妻パネルを差込んでください。

補足

- 妻パネルはザラザラした面が表側を向くように取付けてください。
- ②端部アーチカバーを妻パネルと屋根パネルの両方にかぶせてワイド用棟木側からアーチに [12-3] で取付けてください。(図7-2、図7-3参照)

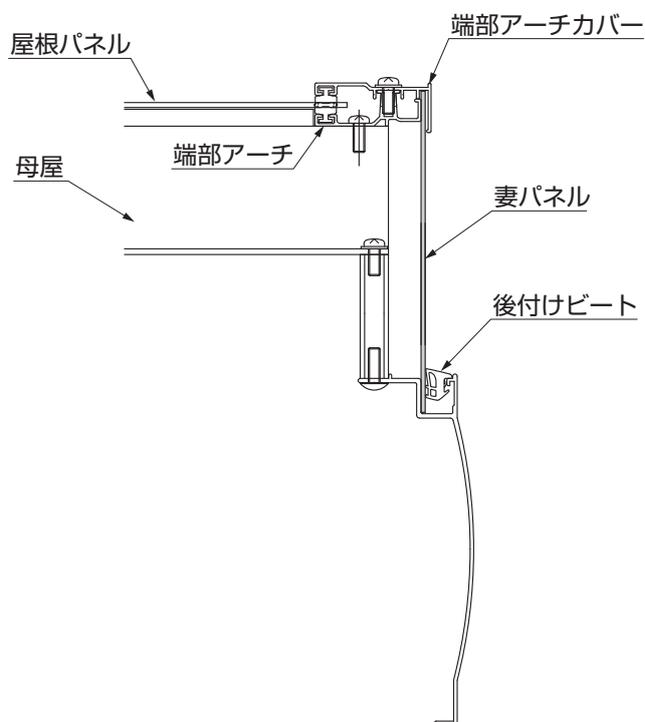


図7-3

③妻パネルを後付けビートで押え込んでください。

④中間アーチカバーを前後枠の前側からアーチに【I2-3】で取付けてください。

補足

●後付けビートは側枠に合わせてカットしてください。

⑤ワイド棟木キャップAをワイド棟木キャップBの上面の取付穴に合わせて【I2-4】で取付けてください。

7-3 端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

※妻パネルが付かないタイプの場合の作業です。

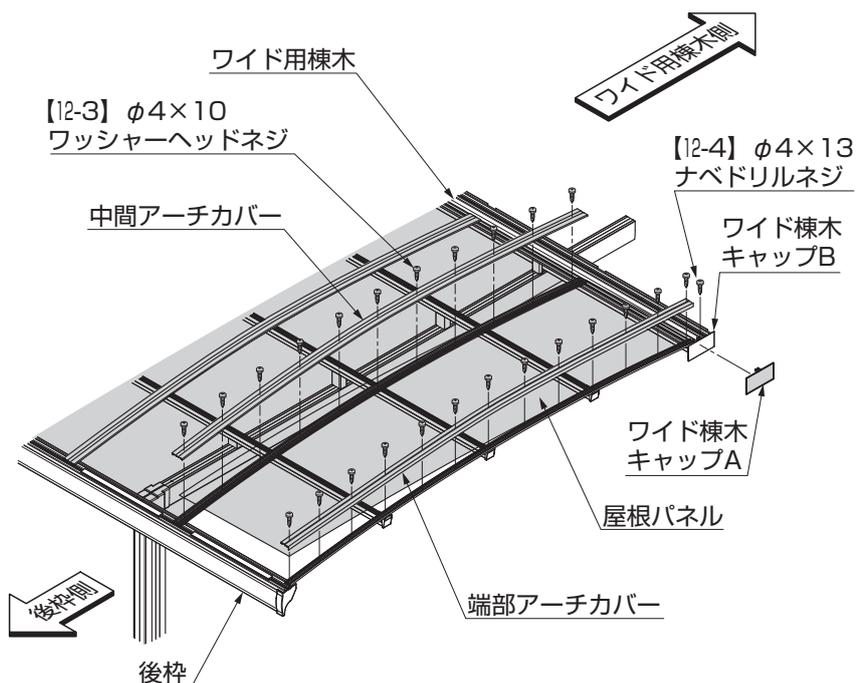


図7-4

①端部アーチカバー、中間アーチカバーをワイド用棟木側からアーチに【I2-3】で取付けてください。

②ワイド棟木キャップAをワイド棟木キャップBの上面の取付穴に合わせて【I2-4】で取付けてください。

8. 縦樋の取付け

8-1 横樋の取付け

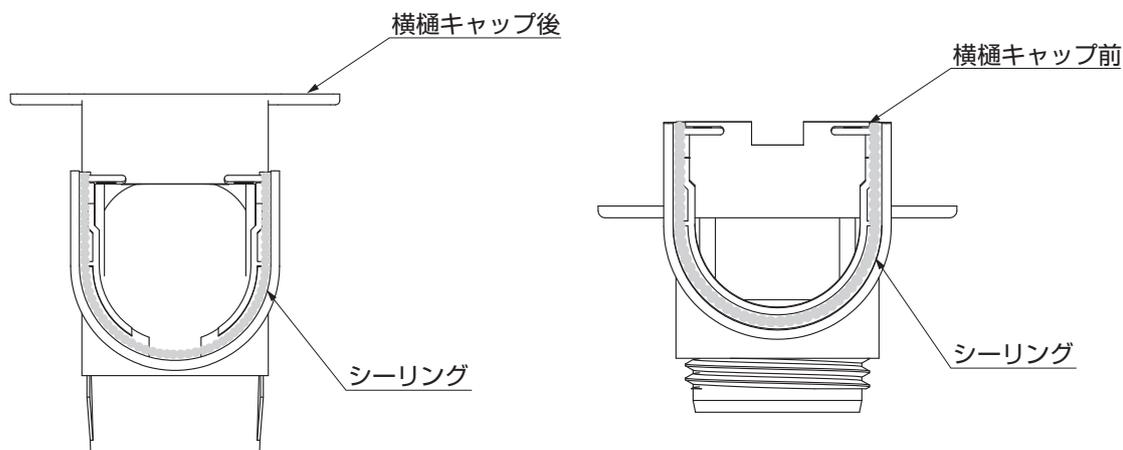


図8-1

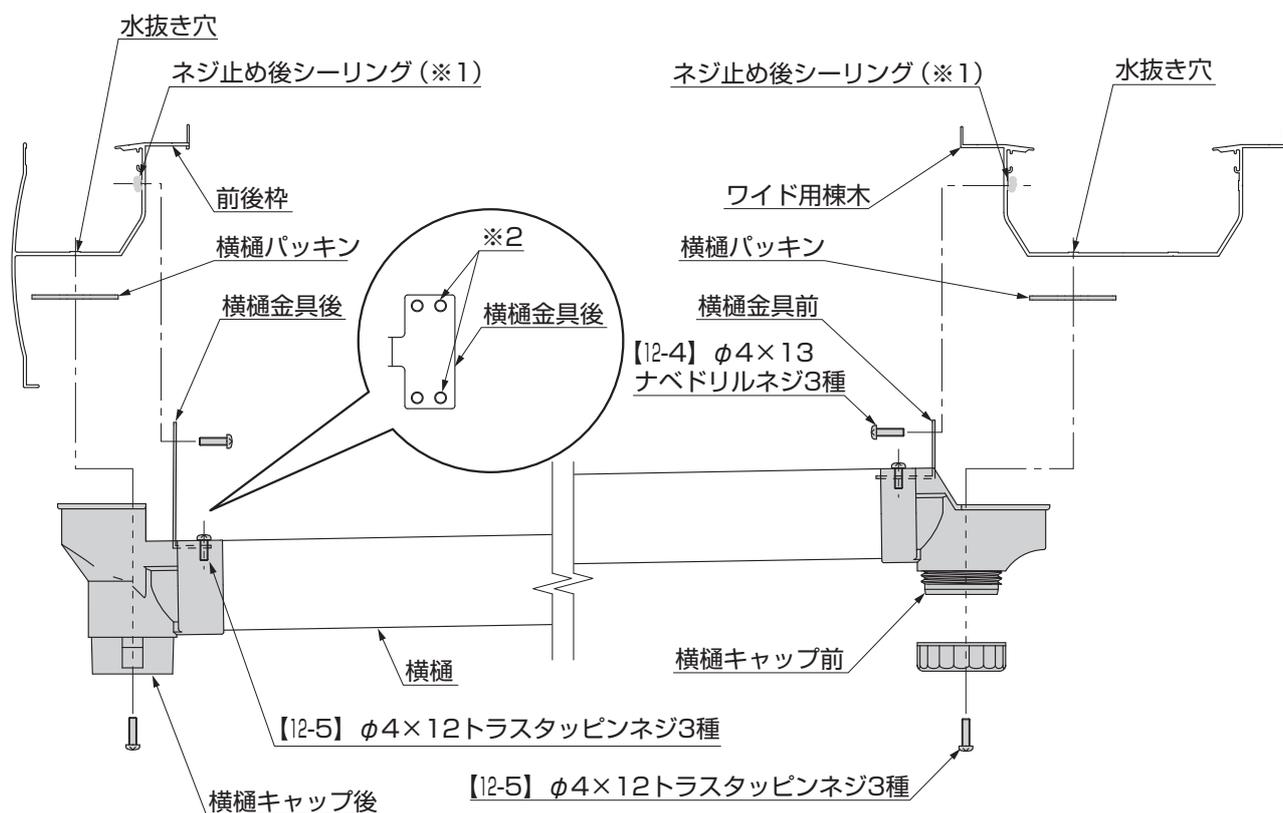


図8-2

- ①横樋キャップ前と横樋キャップ後にシーリングを充てんして、横樋と横樋キャップ前と横樋金具前、横樋と横樋キャップ後と横樋金具後の穴を合わせて【12-5】で組付けてください。
- ②ワイド用棟木の片方の水抜き穴に横樋パッキンと横樋キャップ前を【12-5】で取付け、同様に後枠に横樋パッキンと横樋キャップ後を【12-5】で取付けてください。
- ③横樋金具前を前枠に【12-4】で固定し、同様に横樋金具後を後枠に【12-4】で固定してください。
- ④ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

補足

- 【12-5】は、横樋金具後の右側の穴に取付けてください。(※2)

8-2 縦樋の取付け①

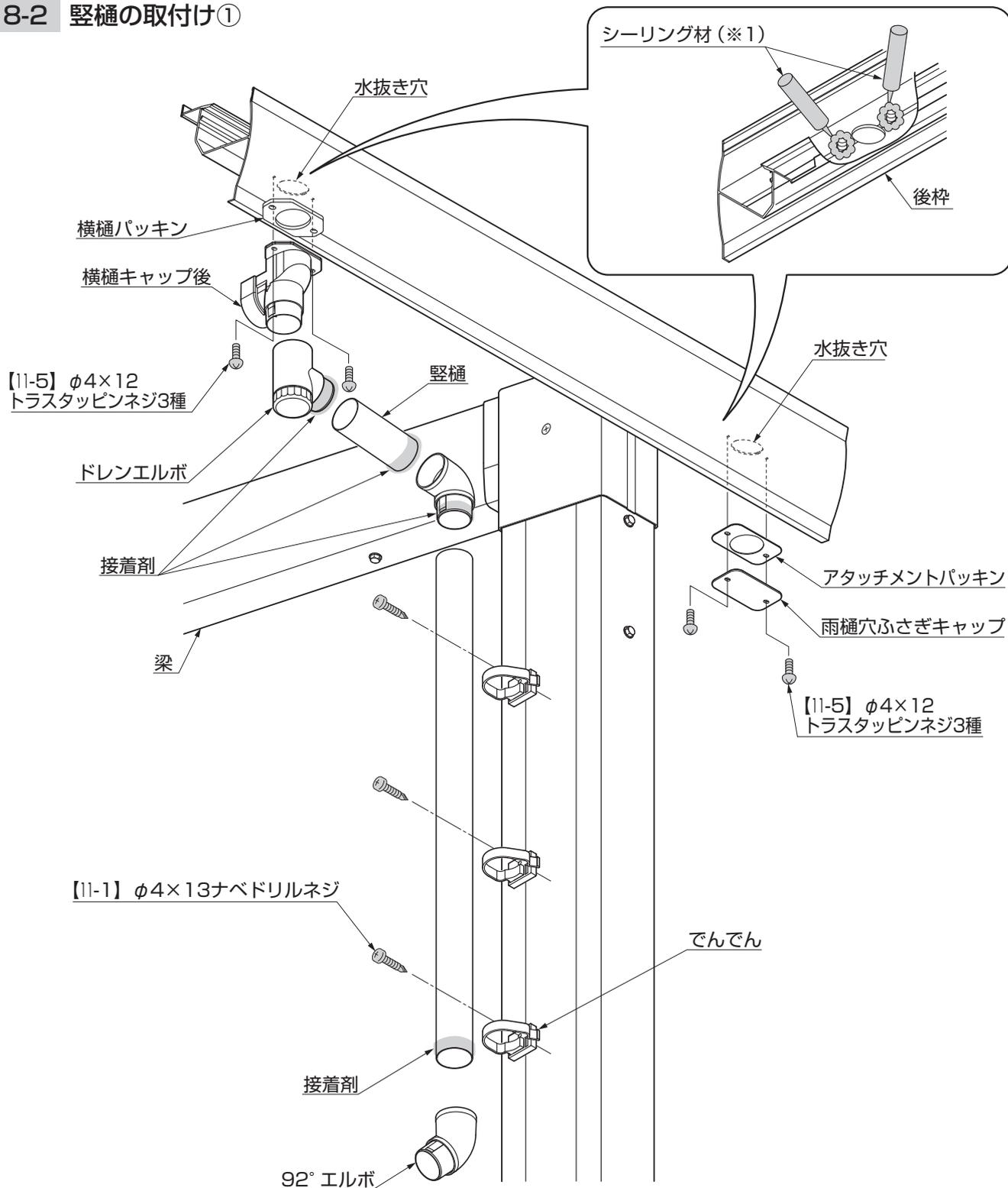


図8-3

- ①ワイド用棟木と後枠の横樋を取付けなかった方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【11-5】で取付けてください。
- ②横樋キャップを水抜き穴に横樋パッキンをはさんで【11-5】で取付けてください。
- ③横樋キャップ後にドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【11-1】で取付けてください。
- ④ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

8. つづき

8-3 縦樋の取付け②

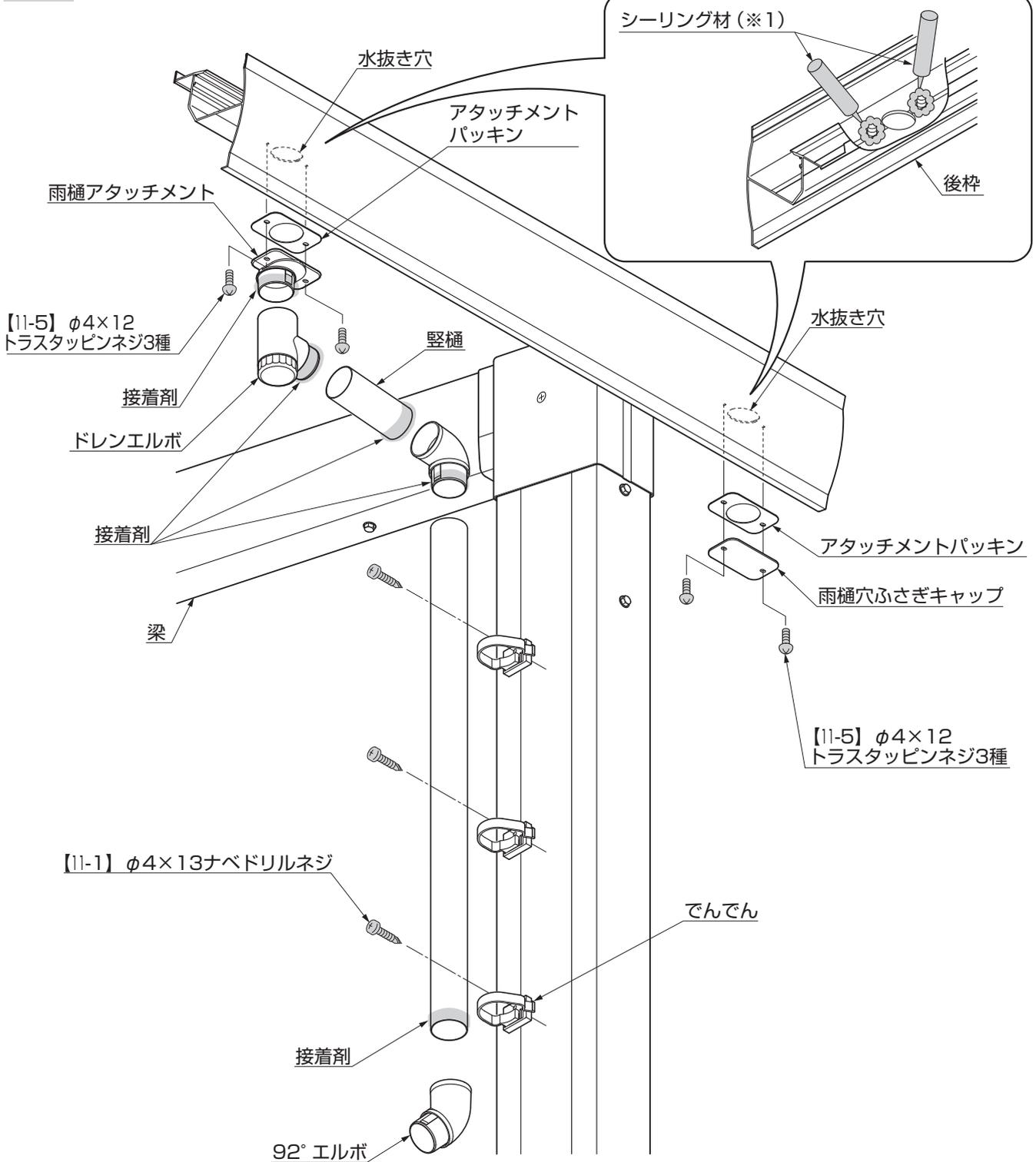


図8-4

- ①横樋を付けてない方の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【11-1】、【11-5】で取付けてください。
- ②もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【11-5】で取付けてください。
- ③ネジ部にシーリング材(※1)を充てんしてください。

3 縦連棟・14延長の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 基礎の施工

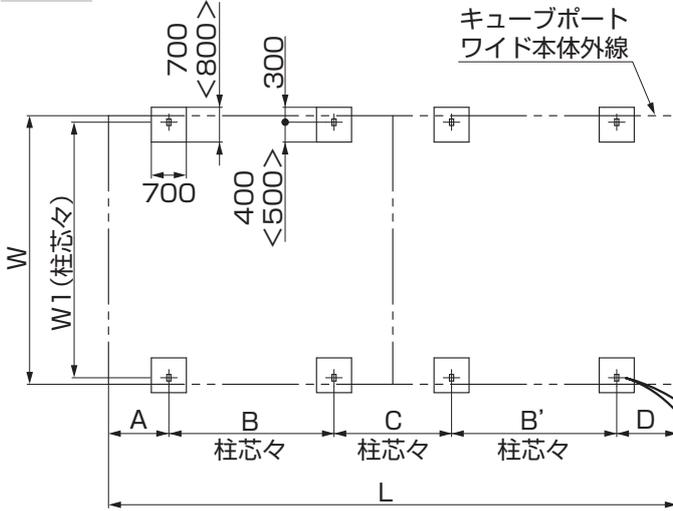


図1-1 縦連棟

① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- < > 内寸法は60サイズの場合を示します。
- 後枠は柱から65mm外に出ています。(図1-1参照)

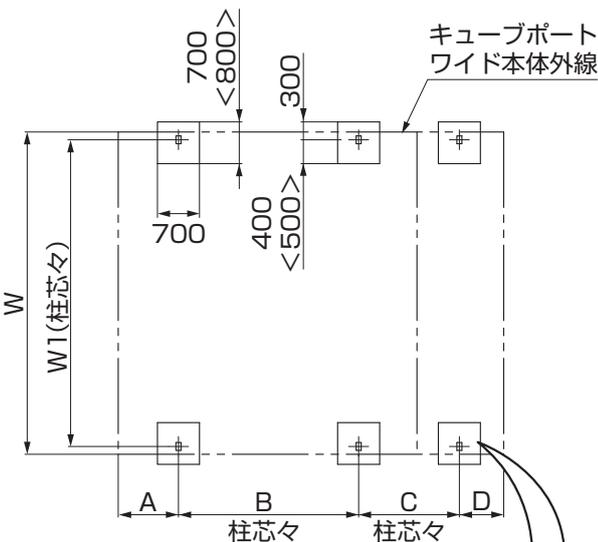
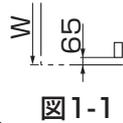
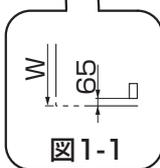


図1-2 14延長



サイズ	W	W1
36型	3606	3346
42型	4206	3946
48型	4807	4547
51型	5107	4847
54型	5407	5147
60型	6006	5746

奥行き	標準					
	L	A	B	B'	C	D
50-50連棟	9936	997	3000	3000	1942	997
50-57連棟	10642	997	3000	3300	2145	1200
57-57連棟	11348	1200	3300	3300	2348	1200
50-14延長	6406	997	3000	—	1677	732
57-14延長	7112	1200	3300	—	1880	732

奥行き	プラス					
	L	A	B	B'	C	D
50-50連棟	9948	1003	3000	3000	1942	1003
50-57連棟	10654	1003	3000	3300	2145	1206
57-57連棟	11360	1206	3300	3300	2348	1206
50-14延長	6418	1003	3000	—	1677	738
57-14延長	7124	1206	3300	—	1880	738

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工

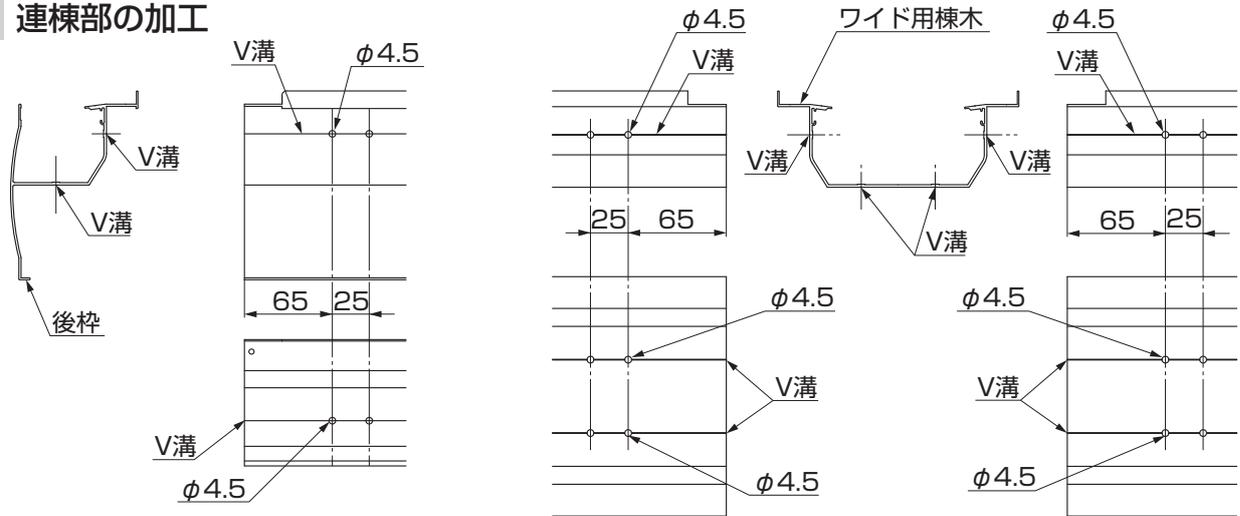


図2-1 後枠連棟部の加工

図2-2 ワイド用棟木連棟部の加工

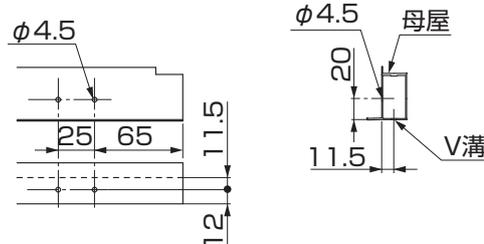


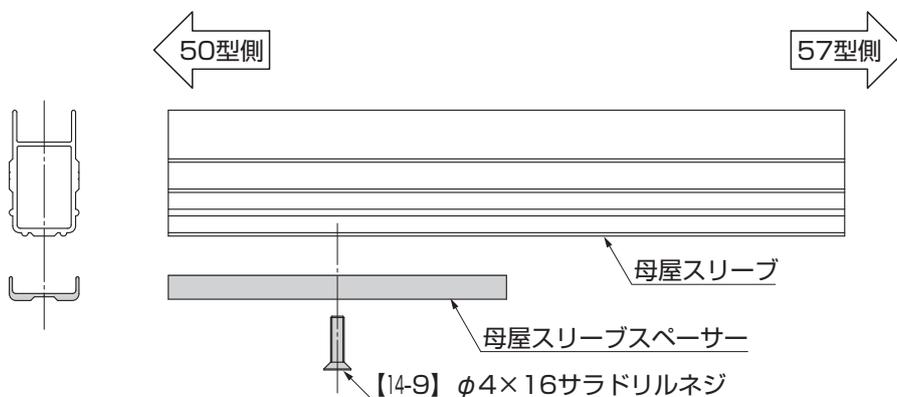
図2-3 母屋の加工

①ワイド用棟木・後枠および母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

ポイント

- 母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。
- 母屋に穴加工を行なう際は、母屋の中に当て板等を入れ、ドリルを貫通させないようにしてください。

2-2 母屋スリーブスペーサーの取付け

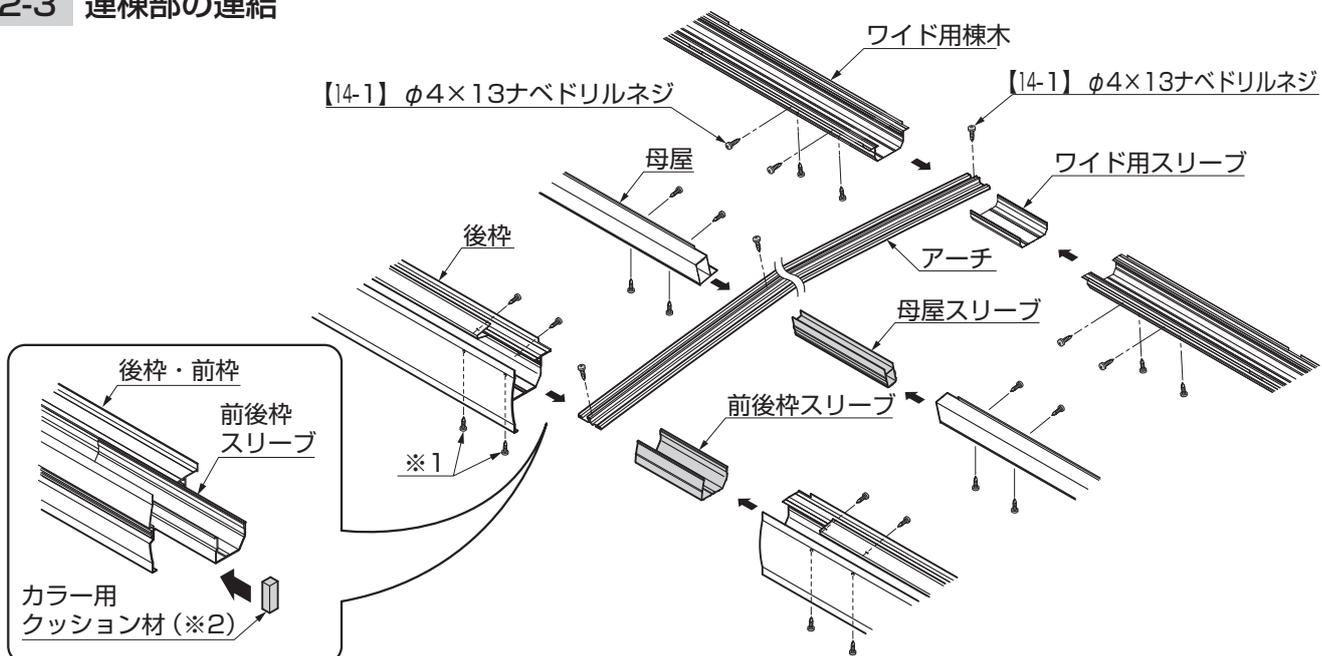


①母屋スリーブに【14-9】で母屋スリーブスペーサーを取付けてください。

ポイント

- 57型の母屋と50型・14型の母屋を連棟する場合のみ行なってください。
- 57型同士、50型同士、50型と14型の連棟では母屋スリーブスペーサーの取付けは行ないません。

2-3 連棟部の連結



- ①前後枠スリーブ、ワイド用スリーブを取付ける【14-1】にシーリングをしてください。(※1)
- ②ワイド用棟木・母屋・後枠にそれぞれワイドスリーブ、母屋スリーブを【14-1】で取付けて連結してください。
- ③全ての【14-1】の回りにシーリングをしてください。

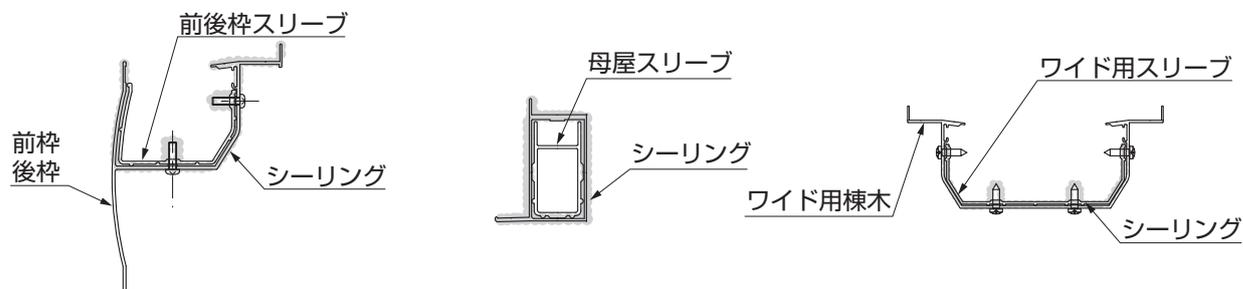
ポイント

- 連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。
- 連棟部はすき間や片当たりがないように連結してください。

補足

- 後枠・ワイド用棟木・端部キャップの取付穴は、同梱の穴ふさぎシールでふさいでください。
- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリング材を使用してください。

2-4 シーリング処理



- ①連棟部分にシーリングを充てんしてください。

補足

- カラー用後枠の場合は、後枠と前後枠スリーブの間にすき間がありますのでシーリング材を充てんする前にカラー用クッション材(※2)をすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。
- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリング材を使用してください。

3. シャッターひさしの取付け（オプション）

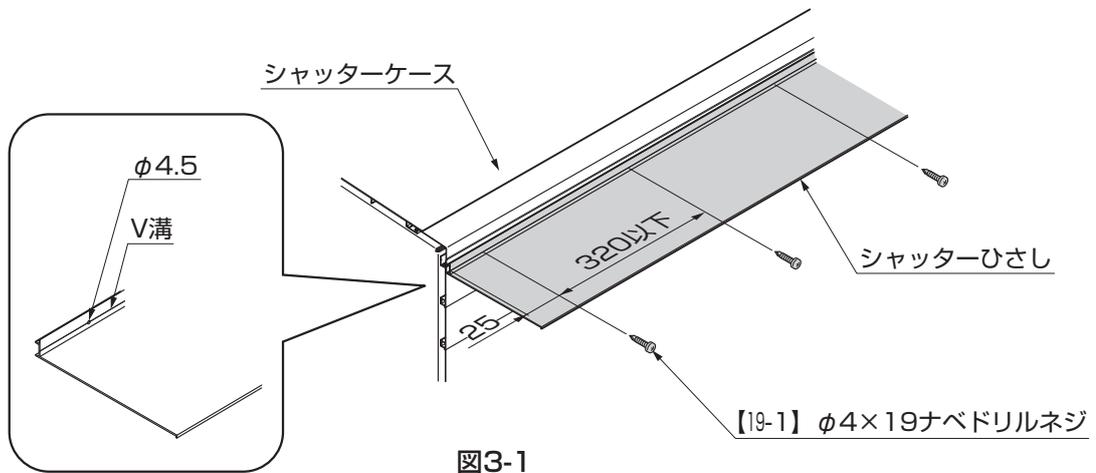


図3-1

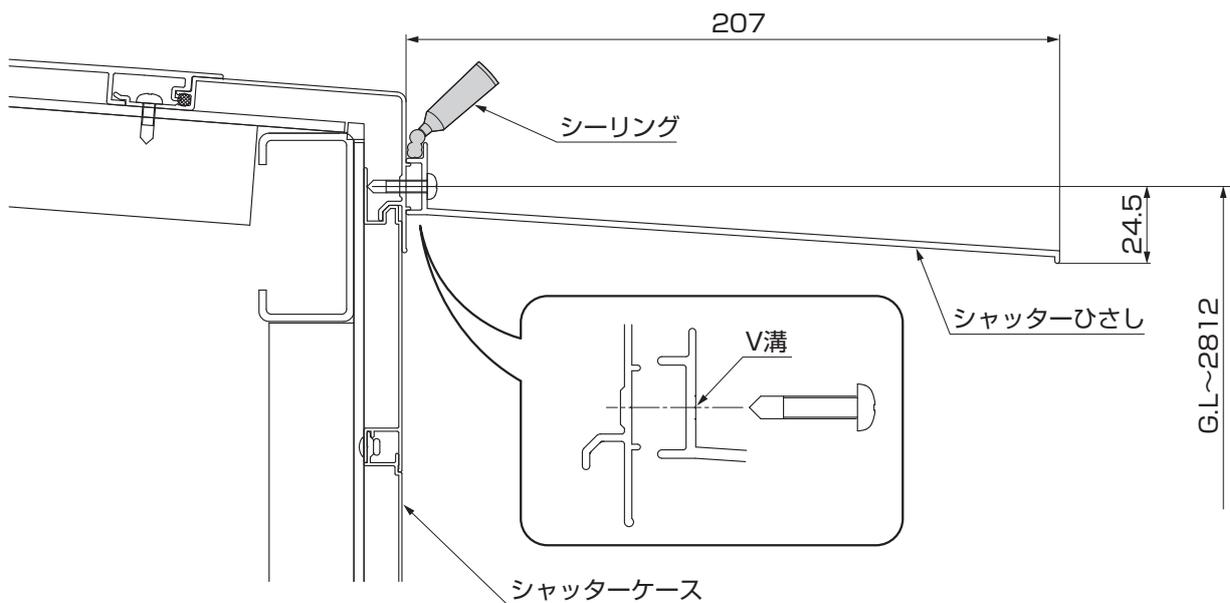


図3-2 ワイドシャッターC・Fタイプ

ポイント

- シャッターケースとカーポート屋根部は100mm以上あけてください。メンテナンス作業ができなくなります。
- ワイドシャッターCタイプとキューブポート間口51型以上の組合せの場合は、150mm以上あけてください。

- ①シャッターケースに合わせてシャッターひさしを切断してください。
- ②シャッターひさしのV溝に合わせてφ4.5の穴加工をしてください。（図3-1参照）
- ③シャッターひさしをシャッターケースに【19-1】で取付けてください。（図3-1参照）
- ④シャッターひさし上部に通しでシーリング材を充てんしてください。（図3-2参照）

取説コード

D351

ULE603370E
200502A_1007
201212G_1039